

## 第 1 回杉並区外環道青梅街道インターチェンジ問題調査会議議事録

1. 日 時：平成 15 年 5 月 19 日（月） 午前 10 時～12 時

2. 会 場：区中棟 4 階 第 2 委員会室

3. 出席者：諸岡会長、内田委員、丸田委員、竹内委員

4. 会議録

【事務局】

会長の選出について。

【内田委員】

諸岡委員がよろしいのでは。

【事務局】

いかがでしょう

（各委員承諾）

【事務局】

会議録について、

- ・ 要点のみ作成
- ・ 公開とする
- ・ 発言者の委員名公開

とする

（各委員承諾）

【内田委員】

会議公開のアナウンスはどうなのか。

【事務局】

ある程度の周知期間をおき、ホームページ、区広報等により周知する

事務局による資料説明

【諸岡会長】

国土交通省と都の資料のみで、区独自の資料はないのか。

【事務局】

概略図、みどりへの影響は区で作成したものである。

**【諸岡会長】**

練馬区の新区長は、前区長の青梅街道 IC を設置しないと反対の意見を継承しているのか。

**【事務局】**

新聞報道によると、青梅街道 IC は必要であると公表している。

**【丸田委員】**

都と国土交通省は一体のものであるのか。

都と国土交通省が進めている今後のスケジュールはどうなっているのか。

**【事務局】**

外環道を整備するということで両者が共同して進めているとの理解である。

国と都は PI 協議会を進めている。PI 協議会を何時まで行なうかは公表していない。PI 協議会は概ね 1 年たち、委員の任期も一年であり 6 月あたりに中間のまとめをしたいとしている。その後については未定である。

**【内田委員】**

練馬区は、議会、都計審なども青梅街道 IC に賛成しているのか。

**【事務局】**

都知事宛に練馬区長から設置要望が出ている。また、練馬区議会の中の外環促進連盟からも設置要望が出ている。

都計審については把握していない。

**【内田委員】**

青梅街道 IC のみが問題になっているのか。

**【事務局】**

3 月 1 4 日の方針では、青梅街道 IC のみがでている。練馬区からの要望があったためである。他については、関係区市から要望があれば検討の対象になると思われる。

**【諸岡会長】**

要望があればどこにでも IC を作るということなのか。

**【事務局】**

最終提言を受けての 1 月方針では IC なしであり、3 月にこの方針が出された。その間、練馬区からの要望があり方向が転換された。

**【諸岡会長】**

要望があれば作るのか、歯止めはないのか。

各区市からは、要望が出ているのか。

**【事務局】**

方針では青梅街道 IC 以外は JCT との一体的活用を考えている。

青梅街道 IC については、地元要望があったことも1つであるが、関越から東名までの距離的に見ても中間でありポイントとなっている。  
他の地域でも強い要望があれば検討されるが、ICの要望についてはない。

【内田委員】

杉並区としてのIC問題への経過、見解は。

【事務局】

基本的にはICが環境や生活に与える影響が大きいため、慎重に多方面から検討しなければならないと表明している。賛成・反対の表明はしていない。

【内田委員】

今回の資料がいつの時点で公表されたものが明記してほしい。

【事務局】

了解しました。

【竹内委員】

練馬区においても杉並が開催した「聴く会」のようなものを行っているのか。開催しているとすれば、IC周辺の練馬区民の意見はどのようなものであったのか。

【事務局】

PI協議会の練馬区の委員の中にICに近接した町会長がおり、明確にIC設置について反対している。

【竹内委員】

第2回沿線区市長連絡会で練馬区長は外環道の整備については基本的に賛成だが、青梅街道ICが設置されなければ反対であるとあるが、どのような理由からか。

【事務局】

1つは、現在大泉周辺が混雑しており外環道本線を整備するだけでは混雑の減少がなく、青梅街道ICを設置することで混雑を分散させる。

2つ目は、外環道計画による制限で上石神井駅周辺の整備ができず地元商店街からの不満がある。

【竹内委員】

費用対効果の分析を行っているのか、やっていけばいつ頃できるのか。

【事務局】

これまで公表された国の資料の中では外環道全体を捕らえた大雑把なものはある。ICを設置することでの費用対効果については、発表されていない。

【諸岡会長】

練馬区は、混雑している根拠としての交通関係資料を出しているのか。

東京都、杉並区、練馬区それぞれにデータがあれば比較することができるが。

**【事務局】**

杉並区においては、青梅街道の交通量のデータはあります。調査のうえ IC 設置に参考になるような資料があれば出していききたい。

**【丸田委員】**

みどりへの影響で、5 年おきに詳細な緑化調査を実施しているのので質に係わるものとして示した方がいい。

地下水の影響として善福寺公園などに危惧がある。地下水に関する調査をしたことがあるのか。

アンケート調査について、地域の名称を書くようになっているので地域別で捉えることで参考になるのではないか。

最終的な報告書のイメージはどんなものであるのか。

**【事務局】**

みどりのデータは善福寺を中心にした分析をしていききたい。

地下水についての資料については確認をしたい。

アンケートについては、地域ごとの分析を出していききたい。

報告書は、結論部を 3 , 4 枚にまとめ引用する資料などをつけた形にまとめるのが必要ではないかと思う。

**【丸田委員】**

今ある資料だけでわれわれの経験と勘などにより結論を出していかねばならず、今後の課題が多いことになる。

**【内田委員】**

交通改善の資料があるが根拠がない、事務局においてきちんとチェックしてもらいたい。

外環の 2 については、大深度で施工するという時点で無くなったのではないか。外環の 2 をどう扱うかによって、議論の前提があいまいになる。

**【事務局】**

外環の 2 については、PI 協議会の中でも色々あり別にする形で整理されている状態である。

**【諸岡会長】**

外環の 2 は無くなったわけではないのか。

**【事務局】**

外環の 2 については都から突然出てきたもので、青梅街道から目白通りまでの地上部の整備が外環の 2 としているようである。

杉並としては、このようなやり方には問題があると考えている。

**【諸岡会長】**

PI 協議会の中で議論はなかったのか。

**【事務局】**

論議が複雑になってしまうので、論点の整理をし、全体が一定の議論を終えた後議論することになった。

ここでの IC 問題検討では、外環の 2 が無いとの前提で行っていただきたい。

**【竹内委員】**

周辺環境について、窒素酸化物などは、短期的ではなく、40 年、50 年後という長期的にみると、規制等によりあまり問題でなくなるとわれ説得力が無くなってしまう。生態系やみどり、地下水への影響などの方が重要である。

東海地震などについての視点がない。災害時における、IC があつたほうがいいのか悪いのかなどのお話がない。

費用対効果について、粗いものであれば区でもできるのではないか、区での試算があれば議論の大きな要素になる。

**【事務局】**

今回は、6 月 3 日午後 6 時からになります。

**【諸岡会長】**

これで閉会します。